

福井市学校版環境 I S O 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境 I S O 認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月20日

学校名 福井市清水南小学校

校長氏名 吉田 宏樹

1 今年度の目標（学校の約束）

- ①清水南地区の環境、地球環境について学習します。
- ②教室で古紙回収に努めます。
- ③地域と連携し、リサイクルに努めます。

2 取組内容

①環境学習

- ・清水南地区の自然環境について学習します。
- ・栽培活動に取り組み、自然を大切にする態度を育みます。
- ・学年ごとに環境を守るための目標を立て、実行できるように取り組みます。

②古紙回収の取り組み

- ・回収するための袋は環境委員会の児童が新聞紙で手作りし、各教室に「古紙回収ボックス」を設置します。
- ・環境委員会を中心に、資源を大切にするよう呼びかけます。

③地域と連携して分別回収

- ・アルミ缶や古紙の回収を PTA や地域と連携して実施します。また、事前にごみの減量やリサイクルについて学びます。

★ E S D ポイント（取組内容の内、1項目について E S D の視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

①の環境学習では、地域の貴重な動植物を採集したり、観察したりすることで、周囲の環境や他の生物と関わり合いながら生きていることを学び、ふるさとの環境を守ろうとする気持ちを育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 清水南小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ①清水南地区の環境、地球環境について学習します。 ②教室で古紙回収に努めます。 ③地域と連携し、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ①環境学習 3年生が、真栗生産組合の廣部さんに協力していただき、学校近くにある大豆畑の一角をお借りして、大豆の栽培体験をしました。種まきから草取りのお世話、収穫まで自分達の手で行いました。どんどん生長していく姿を観察し、収穫した枝豆は持ち帰り、大豆はみんなで調理して食べました。近くの畑で育てられている麦や蕎麦など、他の作物の栽培の様子も観察できました。    ②古紙回収の取り組み 環境委員会は、数年前から取り組んでいる古紙回収を継続して行っています。各教室に“古紙回収ボックス”を設置し、書写で練習した半紙や図工で使用した画用紙の切れ端など、リサイクルできる紙を回収しています。また、回収する袋もそのままリサイクルできるよう、環境委員会の児童が新聞紙で手作りしています。  ③地域と連携して分別回収 5月と10月に、資源回収を行いました。今年度も昨年同様保護者のみの参加とし、学校と地域が協力して行いました。2回の回収で、新聞・雑誌類およそ21tを回収しました。アルミ缶については、児童玄関横の回収箱で随時回収しています。 	

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習では、地域の貴重な動植物を採集したり、観察したりすることで、周囲の環境や他の生物と関わり合いながら生きていることを学び、ふるさとの環境を守ろうとする気持ちをもつことができました。（相互性・多様性）

3
見
直
し

【具体的効果】

- ① 低学年から身近な自然環境について学習することにより、地区に愛着を感じ、生き物や植物を守り、大切にしていこうという心情が育っています。
- ② 学校生活の様々な場面で、紙のリサイクルや物を大事に使うといった行動が見られるようになりました。
- ③ アルミ缶の回収や資源回収が地域の方に浸透し、積極的にご協力いただいています。家庭と連携することで児童のリサイクルへの意識も高まっています。

【改善点】

- ・今年度よりビオトープでの環境学習が難しくなったので、学校周辺で生き物や植物に触れ合えるよう工夫をしていきたいです。
- ・保護者や地域の方にも、学校での取り組みを広げていくことで、地域の環境に対する意識を高めていきたいです。